

# 片岡祐士さん「森の名手・名人」に

平成27年度「森の名手・名



公益社団法人国土緑化推進機構が主催する「森の名手・名人」にオケクラフト職人の片岡祐士さんが加工部門の木工ろくろ技術職人に選ばれ、10月13日に認定証が交付されました。森の恵みを持続的に活かしていく知恵や技を次世代に継承し、すぐれた技術を極め、他の模範となっている達人が選ばれており、平成14年からこれまでに道内では34人が認定され、オホーツク管内では2人目となります。

片岡さんは「オケクラフトに

取り組んで30年になりますが、この仕事に出会うきっかけを与えてくれた町と支えてくれた家族に感謝したい」と述べました。

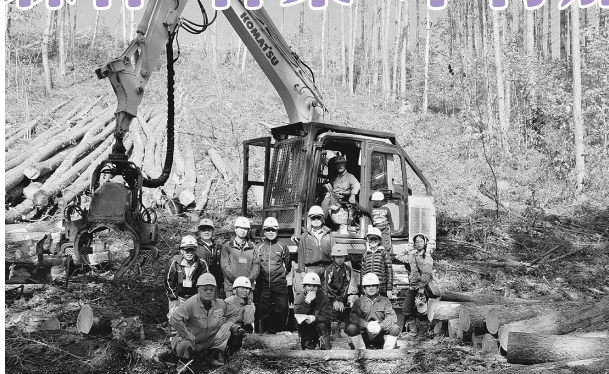
片岡さんは昭和60年にオケクラフトの工房を兄と共同で設立、平成6年に独立し、創意あふれる発想力と、それを形にする技術力で器から家具まで多彩な製品を製作し、現在はオケクラフト作り手養成塾の主任講師として次世代のオケクラフト職人に技術や伝統の継承にも努めています。

## オリジナルのお皿をつくる

鉋やノミ、鋸など手仕事の道具を使って木の皿を作る木工教室が10月24日、どま工房で開かれました。この日は定員の5名がオケクラフトマンから指導を受け、選んだ材料を道具を使いながら形になるまで丁寧に削り、やすりをかけて形を整える作業に食事を取るのも忘れて没頭し、オリジナルのお皿を完成させていました。



## 森林・林業・木材加工見学ツアー



網走中部森林管理署と新生紀森林組合、町共催の置戸の森林見学会が10月17日開かれ17人が参加しました。参加者はバスで勝山の民有林造材現場に移動し、高性能林業機械の伐倒、枝払い、玉切りを1台で行う様子を目を見張っていました。そして、伐り出した材を加工する森林組合工場を見学後、木工クラフトを製作し木から製品になるまでを学び理解を深めていました。